

荻窪病院

地域連携ニュース

5月



病院単独では何一つ成し得ないことを痛感した
13 年間。皆様に心から感謝申し上げます。

最後に、地域の医療のためにという思いを一つにして、医療人としての誇りを高く持ち、常に献身的に仕事をしてくださった荻窪病院全職員に、心から感謝申し上げます。

本年5月1日から院長に就任しました布袋祐子でございます。この場をお借りして、皆様にご挨拶申し上げます。

病院長

布袋 祐子



病院長就任のご挨拶

未曾有の非常事態にも柔軟性をもって早急かつ的確に舵を取る必要性も出て参りました。そのような中での病院長就任という重責を託され身の引き締まる思いでございます。

当院は80年以上にわたり、地域の皆様に信頼される医療機関として安心安全の医療提供を目指して参りました。近年は急性期医療に力を入れ、東京都地域医療支援病院、災害拠点病院、さらに新型コロナウイルスにおいては入院重点医療機関病院として、今まで以上に地域に根付いた医療の提供を心がけております。

地域の急性期病院としての役割を果たすためには、今後より密で円滑な病院連携・病診連携を構築する必要性を感じております。今まで以上に当院の役割を明確にし、病院や診療所の諸先生方との連携を深めてまいりたいと考えております。

「目の前の患者さんに人として寄りそって、最高の医療を提供する」という前院長の目標を継続

し、質の高い医療のみならず、患者さんに対し思いやりを持った医療を提供できればと思っております。

これからも地域や社会に貢献できる病院を目指し、職員一丸となつて取り組んで参ります。今後もしも指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

●病院長 皮膚科部長 TQM 推進部長

布袋 祐子 ふてい ゆうこ



- ・医学博士
- ・慶應義塾大学皮膚科学教室非常勤講師
- ・杏林大学皮膚科学教室非常勤講師
- ・日本皮膚科学会認定皮膚科専門医

1992年 慶應義塾大学医学部 卒業
2005年 荻窪病院 入職
2005年 皮膚科部長 就任
2009年 診療部長 就任
2017年 TQM 推進部長 就任
2020年 副院長 就任
2022年 病院長 就任

消化器内科

肝臓ラジオ波アブレーションシステム *arfa v2* を導入しました。

同機は国産初のラジオ波アブレーションシステムで、先端部の開発により、スムーズな穿刺、および焼却中の組織温度のリアルタイムな把握ができ、高い安全性と効率的な手技をサポートします。

肝臓ラジオ波治療は3cm大3個までを可能としています。適応となりそうな患者さんがいらしたら、ぜひご紹介ください。

小腸処置用スコープ

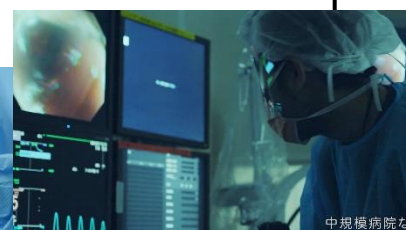
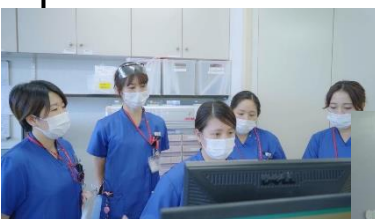
SIF-H 290 Sを導入しました

処置用スコープである同機は、従来の小腸用スコープと比べて鉗子孔が大きく、多くの処置具が使用可能であり、深部の細く屈曲した腸管でもスムーズに通過できる機能を備えています。

主に再建腸管術後の症例や、術後の胆嚢の処置等で使用します。胃を手術した方の、総胆管結石などに優れた操作性を発揮します。

荻窪病院 紹介動画を作成いたしました

医師やスタッフ、院内の様子をリアルにお伝えしています。ご覧頂けますと幸いです！



中規模病院な



ショート版
2:09
ハイテンポで
ご紹介



ロング版
5:13
信頼できる医療
を皆さまに編

新入職の常勤医師 18名をご紹介します

内科・消化器内科

堀江 秀紀 (ほりえ ひでき) 医師



15年 日本大学 卒業

●日本内科学会総合内科認定医
消化器内科、一般内科を診療
させて頂けます。真摯に丁寧な診療を心がけています。よろしくお願いたします。

島田 史恵 (しまた ふみえ) 医師



16年 東京女子医科大学 卒業

苦痛の少ない検査、丁寧な診療を心がけます。どうぞよろしくお願いたします。

伊藤 沙恵 (いとう さえ) 医師



16年 山口大学医学部 卒業

●がん診療に携わる医師に対する緩和ケア研修会修了
消化器内科・一般内科を担当いたします。患者様一人ひとりに寄り添った治療を心がけております。地域医療に貢献できるように尽力して参ります。どうぞよろしくお願いたします。

安藤 裕子 (あんどう ひろこ) 医師

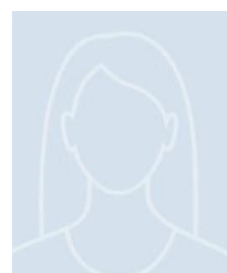


19年 獨協医科大学 卒業

内科外来や内視鏡検査を通して、地域の皆さまに寄り添った診療ができるよう心がけてまいります。よろしくお願いたします。

内科・糖尿病内科

佐藤 翠 (さとう みどり) 医師



15年 埼玉医科大学 卒業

●日本内科学会総合内科認定医
糖尿病診療、一般内科の診療を担当いたします。患者さんに寄り添った親身な治療を心がけ、地域に貢献できるよう精進してまいります。どうぞよろしくお願いたします。

外科・消化器外科

近藤 彩 (こんどう あや) 医師



19年 東京女子医科大学 卒業

外科では、腹部疾患を中心に乳腺疾患なども担当させていただきます。手術、各種検査など様々な処置や手技を行わせていただきます。荻窪病院には一年間勤務予定です。ごさいます。ひ

整形外科

岩井 俊介 (いらい しゅんすけ) 医師



15年 大阪医科薬科大学 卒業

外来では一般診療を担当いたします。微力ではございますが、地域の皆様のお力になれると思います。よろしくお願いたします。

水間 毅 (みづま つよし) 医師



17年 慶應義塾大学 卒業

整形外科一般、外傷の診療を担当しております。丁寧な診療を心がけております。地域の皆様のお役に立てよう努力してまいります。よろしくお願いたします。

亀井 理彰 (かめい まさあき) 医師



19年 東邦大学 卒業

整形外科一般の診療を担当しております。個々の患者様の状況に応じた丁寧な診療を心がけて参りますので、どうぞよろしくお願いたします。

麻酔科

藤田 彩恵 (ふじた さえ) 医師



16年 筑波大学 卒業

●麻酔科標榜医
●麻酔科機構専門医

第一に患者様が元気になり、笑顔で過ごせるよう、安全に、丁寧に、真摯に周術期の管理をさせていただきます。職種を越えて協力し合い、皆様にベストな医療が提供できるよう尽力いたします。

産婦人科

吉田 俊輔 (よした しゅんすけ) 医員



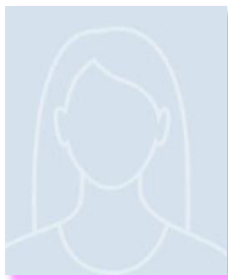
10年 山梨大学 卒業
●医学博士

●日本産婦人科学会産婦人科専門医・指導医
●日本がん治療認定医機構がん治療認定医
●日本産婦人科内視鏡学会技術認定医
●日本内視鏡外科学会技術認定医

2022年4月1日より産婦人科に着任いたしました吉田俊輔と申します。

エビデンスに基づいた、最も患者さんのためになると考えられる治療を行っていきます。今後ともよろしくお願いたします。

玉川 真澄 (たまがわ まさみ) 医員



14年 東北大学 卒業

●日本産婦人科学会産婦人科専門医
よりよい医療を提供できるよう、精進いたします。よろしくお願いたします。

浅田 公美子 (あきた きみこ) 医員



19年 慶應義塾大学 卒業

地域の皆様のお力になれるよう、日々の診療に取り組んでいます。よろしくお願いたします。

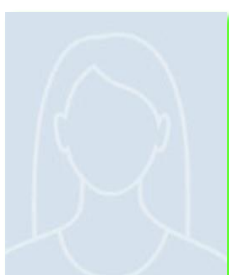
皮膚科

八谷 美穂 (はちや みほ) 医員



13年 岩手医科大学 卒業
患者さん一人ひとりに誠意をもって診察しております。

鎌田 亜紀 (かまた あき) 医員



16年 慶應義塾大学 卒業
皮膚疾患全般の診療をさせて

初期臨床研修医

蓼原 郁斗 (たはら いくと) 医員



22年 日本大学卒業 卒業

今年度より、2年間荻窪病院で初期研修をさせていただくことになりました。一つ一つの経験を大事にしながら、実りのある研修にしたいと思っております。また患者様に寄り添い、少しでも杉並地域の医療に貢献できるように努力させていただきます。至らぬ点も多いと思いますが、ご指導ご鞭撻の程、よろしくお願いいたします。

山本 有人 (やまもと あると) 医員



22年 慶應義塾大学 卒業

本年度より2年間、荻窪病院で初期研修をさせていただくことになりました。医師としての自覚を持ち、しっかりと荻窪病院の精神を吸収していきたいと思っております。コロナ禍ということで、ポリクリも回れなかった期間などもあり、未熟で至らないこともあるかと思いますが、ご指導ご鞭撻の程、どうぞよろしくお願いいたします。

放射線科

成田 啓一 (なりた けいち) 医員



09年 慶應義塾大学 卒業

●日本医学放射線学会放射線診断専門医
●日本超音波医学会超音波専門医
●日本核医学会核医学専門医
●日本乳がん検診精度管理中央機構健診マンモグラフィ読影認定医

超音波検査(US)、コンピュータ断層撮影検査(CT)、核磁気共鳴画像検査(MRI)など画像診断全般を担当させていただきま。画像診断の報告書を通して、地域医療に貢献したいと考えております。わかりやすい報告書作成を心掛けてまいります。どうかよろしくお願いたします。

頂きます。
皮膚のトラブルは、手荒れや白癬などの身近なものから、全身疾患に関連するものまで多彩です。微力ながら地域のお役に立てますよう、診療に努めて参りますので、どうぞよろしくお願いたします。

2022年5月

発行：荻窪病院 地域連携室

TEL 03-3399-0257 FAX 03-3399-0258

月～金 8:30～18:30 土 8:30～12:00

〒167-0035 東京都杉並区今川 3-1-24